

建設業山ノ内会と山ノ内町議会議員との懇談会 報告書

日時	平成27年8月7日 午後4時00分から午後5時30分まで
場所	山ノ内文化センター 郷土資料室
参加人数	建設業山ノ内会：11人 議員：9人
出席者	建設業山ノ内会 平穩土建 土屋定正、下田土建 下田幸永、池田商事 小田孝志 三起設備 田口達誠、田中設備 田中徹宏、平穩建設 長谷川一夫 山岸木材 山岸吏、湯本建設 湯本猛繁、渡辺組 渡辺征一 丸美商会 栗林義雄、小坂組 矢野明博 山ノ内町議会議員 山本良一（副議長）、西 宗亮（総産委員長）、 渡辺正男（社文委員長）、湯本晴彦（総産副委員長）、小林克彦、 徳竹栄子、高田佳久、高山祐一、望月貞明
次第（担当者）	1. 開会のことば（建設業山ノ内会 副会長 下田 諭） 2. 主催者あいさつ（建設業山ノ内会 会長 土屋定正） 3. 山ノ内町議会代表あいさつ（山ノ内町議会代表 副議長山本良一） 4. 自己紹介 5. 懇談会（座長：建設業山ノ内会 会長 土屋定正） （1）建設業山ノ内会の組織と概要について （2）昨今の山ノ内町の建設行政について （3）今後の取組みと問題点について （4）その他 6. 総評（山ノ内町議会 総務産業常任委員長 西宗亮） 7. 閉会のことば（建設業山ノ内会 会計 小田孝志）
懇談会意見	・建設業山ノ内会として、7月27日に町へ陳情した件について、説明があった。陳情内容は、町が発注する公共事業について町外業者は町内業者とジョイントベンチャーにて入札参加するようにすることと、町内の雇用を生み出すべく、町内業者を中心とした指名選定の要望の2点。 ・規模の大きい公共事業になると、建設業のランク付けによって、町内業者が指名入札に入ることができないこともある。そのため、ジョイントベンチャーでの入札をしやすくすることを要望。中野市は、中野市内の業者が指名されるように認定基準を設けている。 ・今年度の3件の大きな公共事業は、ランクの関係もあり、入札の指名は町外業者の単独が中心となった。町に税金を納入している町内業

	<p>者が不利になっていることについて建設業山ノ内会として疑問を持っている。</p> <p>また、人口問題という観点からも、地域に仕事がないと人が流出してしまう。その意味でも、できるだけ町内業者に仕事を落とし、産業の活性化、業界支援など納得のいく行政運営の推進を請われた。</p>
<p>その他 反省事項等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業界側から除雪事業についてもジョイントベンチャーの採用を検討してほしいとの要望、意見が出た。 ・ その他特になし。